

経済常任委員会に付託された事件について、審査した結果を御報告いたします。

議案第 1号 令和3年度岩国市一般会計補正予算（第12号）

議案第 7号 令和4年度岩国市一般会計予算

議案第83号 令和4年度岩国市一般会計補正予算（第1号）

以上3議案のうち、本委員会所管分は、慎重審査の結果、原案妥当と認め可決すべきものと決しました。

議案第 5号 令和3年度錦帯橋管理特別会計補正予算（第2号）

議案第13号 令和4年度岩国市観光施設運営事業特別会計予算

議案第14号 令和4年度錦帯橋管理特別会計予算

議案第15号 令和4年度岩国市市場事業特別会計予算

議案第65号 指定管理者の指定について

議案第67号 指定管理者の指定について

議案第68号 指定管理者の指定について

議案第72号 指定管理者の指定について

議案第73号 指定管理者の指定について

以上9議案は、慎重審査の結果、原案妥当と認め可決すべきものと決しました。

それでは、審査の状況について、御報告いたします。

議案第 1号 令和3年度岩国市一般会計補正予算（第12号）についてのうち、本委員会所管分の審査におきまして、農林水産業費の林業費の岩国産木材搬出流通促進事業に関し、委員中から当初予算額1,000万円の事業において600万円減額補正した理由について質疑があり、当局から、「最大限、取りこぼしのないようにという思いで1,000万円を予算計上した。令和3年度については7件の申請にとどまっているが、木材の搬出は希望してすぐに出荷できるものではないため、今後、伸び代がある事業であると捉えている」との答弁がありました。

それを受け、委員中から、「今後の自伐型林業の足がかりになる事業であるが、今後、誰でも林業に取り組めるような運用についてどのように考えているか」との質疑があり、

当局から、「令和4年度に新規事業として林業担い手育成支援事業費補助金を予定していることから、2つの制度を活用していただくことで、自伐型林業に取り組む方が増えていくのではないかと考えている」との答弁がありました。

続いて、商工費の観光費の錦帯橋鵜飼保存事業に関し、委員中から、「新しい屋形船も完成し、鵜飼に関するハード面は順調に整備が進んでいるが、ソフト面において、鵜飼船の船頭や鵜匠などの後継者育成・確保はどのように図られているのか」との質疑があり、

当局から、「鵜飼の保存のために、平成28年度末に鵜舎を整備し、鵜の飼育環境の改善に努め、成果が表れている一方で、鵜の飼育やトレーニング等に支援協力いただいている方の高齢化や岩国市観光協会実施の遊覧事業における船頭不足など、後継者の育成や確保が課題となっている。本市の鵜飼を継承していくために、観光協会と協議をしながら、

今後の対応を検討してまいりたい」との答弁がありました。

続いて、商工費の企業振興費の創業支援事業（地方創生推進）に関し、委員中から、岩国しごと交流・創業スペース「Class Biz.」の物件委託料の内容について質疑があり、当局から、「委託の内容としては、施設の管理だけではなく、創業支援マネージャーを配置しながら寄り添い型の支援を行っているほか、月に1回、入居者や地元企業の交流を進めるセミナーや、週1回の中小企業診断士等による相談会なども行っている。また、令和4年度においては、地元企業向けのDX支援事業を計画している」との答弁がありました。

それを受けて委員中から、「施設の利用に当たり、使い勝手のいい施設にしていかななくてはいけないと思うが、利用者からの御意見を聞き、改善していくことも委託の契約内容に含まれているのか」との質疑があり、当局から、「日頃から、寄り添い型の支援ということで、委託業者のほうでシェアオフィスの入居者の方から御意見を伺っている。また、市としても、その委託業者と月に1回、連絡会議という形で情報を共有するようにしている。実際に、入居者の御意見を取り入れ、ウェブ会議用のブースを設置するといった取組を行っている」との答弁がありました。

本議案のうち、本委員会所管分については、慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

なお、そのほかの案件につきましては、特に申し上げるべきことはございません。
以上で、経済常任委員会の審査報告を終わります。